



# はくあい

創刊号

VOL. 1

2020年4月



## 創刊にあたって

理事長 兼 病院長 佐藤 隆次

「はくあい」の創刊にあたって、ご挨拶を申し上げます。

医療法人博愛会一関病院は、2018年2月に創立100周年を迎えました。

当法人と地域を繋ぐ機関紙を発行することが長年の願いでありましたが、ここに想いが実現したことは大変嬉しく思います。

私たちは、医療法人博愛会一関病院という従来の医療の枠から、岩手県南と宮城県北の地域包括ケアシステムの充実を目指して、博愛会の構成を、一関病院（強化型在宅療養支援病院）を大黒柱として、訪問看護ステーション「わかば」・一関病院医療と介護の連携センター、そして看護小規模多機能型居宅介護施設「あさひ」（令和2年7月開設予定）を3本の柱としました。これを軸に、訪問看護・訪問リハビリ・訪問診療・訪問栄養指導等のさらなる充実をはかっています。

これまでの医療中心から、医療と介護の両面で地域への貢献を目指しています。私たちは、「患者さんが自分らしく生きること」を職員一丸となって応援します。「患者さんの抱える病」に対して共にたたかい、「病を持つ患者さん」と共に歩みます。そして患者さんの家族を支えて、家族と一緒に患者さんを援助します。「病を抱えて生活している患者とその家族」への全人的医療と介護の提供に取り組んでいきます。

博愛会のモットーである「明るく・親切・ていねいに」のさらなる実践に努めて、一人でも多くの地域住民の皆さんからこれまで以上に信頼していただけるように、職員一同力をあわせて、たゆまずに頑張っていきます。

今後とも、皆さまのご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



一関病院 ロゴマーク

周囲の円形は一関病院の「い」を図案化したもの。色は一関市の木「ぶな」をイメージした緑色。内側の白は病院を連想させる十字を入れている。中央にぶなの二葉を入れ、左下にカゲをつけて立体感を出すことにより、成長と未来への前進を意図している。

# 特定医療法人 博愛会

モットー 「明るく・親切・ていねいに」

- 基本理念
1. 地域に根ざし住民から信頼され、安心・安全な医療と介護を提供します。
  2. 患者と家族本位の医療と介護を提供します。
  3. 職員が充分能力を発揮し、働き甲斐のある職場環境を提供します。

- 基本方針
- 質の維持  
最新の医療水準を維持する努力を続けます。
  - 安全対策  
患者様の安全を確保するため事故防止・安全対策に努めます。
  - 経済性の向上  
経済効率の良い医療を提供いたします。
  - 病院サービス  
患者様・ご家族の方々と協力した医療、インフォームドコンセントに基づいた医療と介護を提供できるようサービスに努めます。  
医療や介護に関することはどんなことも医師や看護師等にお気軽にご相談下さい。

沿革		
大正 7年 1月 23日	私立一関病院開設	
昭和 29年 4月 2日	医療法人博愛会一関病院に組織変更（病床数170床）	
32年 5月 1日	健康保険医療機関に指定	
39年 11月 10日	総合病院、救急病院に指定（病床数250床）	
40年 3月 31日	特定医療法人に認可	
46年 4月 30日	伝染病棟増設（病床数300床＝一般病床280床、伝染病床20床）	
55年 11月 30日	第3病棟増築（病床数310床＝一般病床290床、伝染病床20床）	
63年 1月 23日	一関病院創立70周年	
平成 3年 9月 6日	本館改築（外来診療棟、管理棟）	
11年 4月 1日	病床数の変更290床、伝染病棟の廃止（20床）	
28年 7月 1日	一関病院 医療と介護の連携センターを開設（居宅介護支援事業所）	
8月 1日	病床数の変更234床（一般病床174床、療養60床）	
10月 1日	一関病院 訪問看護ステーションわかばを開設	
29年 4月 1日	診療14科目（消化器科、内科、呼吸器・アレルギー科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、総合診療科、健診科、麻酔科）	
7月 1日	病床数の変更199床（一般病床139床、療養60床）	
30年 1月 23日	一関病院創立100周年記念日（2月10日 記念式典を挙行）	
2月 1日	機能強化型在宅療養支援病院	



## 地域医療連携室・医療相談室

当院の地域医療連携室・医療相談室は、外来棟1階総合受付のすぐ近くにあり、現在医療ソーシャルワーカー4名・事務員1名の計5名が在籍しております。

医療ソーシャルワーカーとは、「医療機関において、様々な問題の相談に応じ、患者さんが適切な医療を受けられ、社会復帰できるよう調整・解決の援助をしていく社会福祉の専門家」です。

業務内容は医療相談業務と地域医療連携業務の2本柱で、主に入院・退院の支援や各医療機関からの患者さん紹介に関わる連絡・調整を行っています。退院支援では、当院の特色である「訪問診療」「訪問看護」「訪問リハビリ」「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」という恵まれた連携体制を最大限に生かし、住み慣れた地域や住まいで安心・安全に暮らし続けることができるようお手伝いさせていただきます。

その他、受診や入院、医療・福祉制度についてのお問い合わせ等、お気軽にご相談下さい。



相談受付時間／平日 9:00～16:00、第2・4土曜日 9:00～11:00

※予約優先となります。事前にお電話等でご連絡いただけますと待ち時間なくお受けできます。

「もし大切な人が病気になって、通院や入院することになったら、どのように手を貸してあげられるだろう？」  
そのお気持ちを、ぜひ当院で表してみたいはいかがですか？

## 病院ボランティア募集



### 病院ボランティアとはどういうもの？

病院の職員と協力して、利用される方々の精神的苦痛や不安をやわらげ、安心して医療を受けることができるようサービスを提供することです。

ボランティアは医療行為をすることができませんが、病院の中には医師や看護師などの専門職でなくてもできる仕事がたくさんあります。ボランティアによって、病院職員ではできない、やすらぎを患者さんに与えることができます。また、病院職員はより十分に本来の業務に専念することができます。

ボランティアは、地域との結びつきや人と人とのつながりを強め、開かれた病院づくりにも貢献します。

### どんなことをするの？

- 受付・外来での案内や、車いすなどの介助
- 入院患者の話し相手やお散歩の付き添い、食事の下膳
- 病院で行われる様々な行事のお手伝いを考えています。参加される皆さんの意見もお聞きしながら決めます。

### 医療の知識がなくても大丈夫？

まったく問題ありません。必要なことがあったら、活動しながら覚えていきます。

### 資格、年齢制限、男女の別は？

資格は必要ありません。年齢も男女の別もまったく関係ありません。どなたでも参加できます。

### 交通費は出ますか？

交通費の支給はありません。

### どの時間帯に行うの？

相談のうえ決めます。

お問い合わせ・お申込み／一関病院 事務局総務課 ボランティア担当 TEL 0191-23-2050

気軽に健康チェック  
してみませんか？

予約不要

保険証不要

短時間で検査

結果はご自宅に郵送

## 一関病院では「三二健診」を実施しています！

### 「三二健診」とは？

「健康なんだけど、最近ちょっと気になることがある」「次の健診まで待てない」「健康診断を受けたいけど時間がとれない」「健康診断で指摘されて気をつけているが、その後どうなっているだろう」などという方、付き添いやお見舞いに来たついでに、あるいは少しの空き時間を見計らって気軽に検査を受け、ご自身の健康チェックができる健診です。

受付時間 / 月～金曜日(祝日除く) 10:00～15:00

検査項目	料金(税込)
① 貧血が気になる方 (赤血球数・ヘモグロビン・ヘマトクリット・白血球数・血小板数・鉄)	500円
② コレステロールが気になる方 (総コレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール)	500円
③ 血糖が気になる方(血糖・ヘモグロビンA1c)	500円
④ 肝臓が気になる方(AST・ALT・γ-GTP)	500円
⑤ 痛風が気になる方(尿酸)	500円
⑥ 腎臓が気になる方(尿素窒素・クレアチニン)	500円
⑦ セット(上記①～⑥)	1,500円

### 検査の進め方



1階ロビーの  
券売機で  
検査券を購入



検査券を1階  
総合案内へ提示  
(申込書記入)



採血室案内  
↓  
採血・検査

お疲れ様  
でした！

検査終了



検査結果は  
約1週間ご  
自宅に郵送

お問い合わせ／一関病院 臨床検査科 TEL 0191-23-2050



特定医療法人博愛会 一関病院

〒021-0884 岩手県一関市大手町3-36 TEL 0191-23-2050(代) FAX 0191-21-3104